

詩や歌に思い出を托す

魅力あふれる山陰

田中道子

私は第十五回教職員研修旅行に初めて参加し、山陰コースを六日間で回わり、七月三十一日無事東京に着きつゝ、山陰地方の自然と文化遺跡はすばらしく、私は目をみまひ貴重な体験をなし得たことをしみじみ幸福だと思ふ。三日目山口県津和野からメノウの名産地で知られる島根県玉湯温泉までの私のバス見学記を順を追つてお知らせしよう。

○……………○

その名もやさしい津和野は鯉の町として知名度が高く、山陰の京都といわれ四方を緑の山で囲まれどゆな町である。萩城外の旧居や姫との悲恋で知られる武将坂崎元守の墓所などがあつて、思い出すと津和野川（錦川）の清流に数匹目のウケイの大群が朝日を受けてきらきら光っているのは美しかった。大橋の欄干から目の中を数匹怒々と泳ぎしているのが見えた。藩政崎元守の頃から禁漁区だったこの町は今でも道

路の溝の流れに色とりどりの鯉を
放し、所々にアヤメも植えられて
いる。今では鯉の総数は町の人口
の十倍にのぼるといふから地元の
鯉に寄せる愛情は一通りではな
いようだ。

私たちが三日間お世話になった京都観光バスガイドさんは愛嬌がよくて親切だった。クリューンに赤の線が、本入った車体は清涼で、中は冷房がきいており、クションは紫色でやれていた。ガイドさんは、私たちが車にきてくるに時々きれいな声で民謡を歌い旅情を惹きつけた。

益田 浜田 大田と走りぬげ
橋の向うの大鳥居をぐり抜け
と早や出雲大社は足の前である

「皆さま、縁起で有名な出雲大社はご存知の大国主命が祀ら
てあるおやしつてまいます。

お賽銭は、ご縁があるように
の言い伝えにより五円玉を必ず
げることになっております。ま

あるいは始終縁がありまゝすうちに四十五円おあけになつても構でございませう。また、柏手しわでは二人分でございませうら四つ打つていただきます。お遣へございませぬように、年々の娘を二人も持つ私は笑ひながらも貞劍になつて聞いたもので

数百の老松の間をめいめいと
帽子やパラソルをさし、お揃いの
赤いシヨルダー・バックを肩に

て

の旧唐は松江市の西北、松江城の
淳治川の松永に面した一角に、
武家屋敷の面影をそのままに残さ
れた安閑の岡側には櫓壁がめぐらさ
れ、右端に史跡「小八雲旧唐」と書

青銅の鳥居をめぐると、玉砂利の
向うに延享元年（一七四四）に再
建されたという国寺の美しい本殿
が目の前に飛び込んできた。

拝殿の真上には、日本一といわ
れる太い大きなシロ楸の木もたけ
に下がり、総ヒノキ造りの本殿は

かれた石階が建っている。

八雲が日本にきた頃の私江は、
宍道湖やお城の松に囲まれ、さそ
美しい町であつた。私は改めて
て彼を不幸た。た前生を思つた
ラフカディオ・ハーン（松江で
はハーンと称した）は、一八五〇年

眞夏の太陽を受けてキラキラと光
っていた。私は年間三百五十万人
にもほる多参者があるという大
黒さまに、娘のしあわせを祈つて
手を合わせた。お賽銭は八匁
柏手（かしわで）は都合八丁打つ
た。

（嘉永三年）父はアイランド
母はギリシヤの女としギリシヤ
に生れた。少年時代、左目を失明
し、父母は彼が幼い頃離婚し、家
庭的に恵まれなかつた。

明治二十三年八月、島根県尋常
中学校に招かれ、初めて松江七村

赤い錦の袋に入った縁結のお
守りを二つ買う。六百円だった。
宝物館や陰暦十月に全国の神々が
会議に集まる十九社と呼ばれる細
長い建物を見学し、最後に記念撮
影をとった。カンカン照りの出雲景
は結構あつかった。

任、同年十二月に松江藩士小泉
令顯節子と四十歳とのき初め
結婚し、三男一女の父となる。書
子のため二十八年秋、日本に帰
り八雲を名乗ったという。

女関をあがると四男、十歳、
豊、続き、南と西と北に狭い縁

あり、三方を庭で囲まれてゐる。ヘルンはこゝなくこの庭を眺めてゐる。ヘルンには小鳥や蓮（はす）を配して、茶目、鈍く光る雲道湖を横目で見ながら数多い史跡の点在する松江市に向う。

松江をおする視光客は、先ず松江城の優美さと水の都の名には、加賀や町の姿に安堵に似た

を願ふ、四季おりおりの移り変りを楽しんだ。

感情を抱くとどう。天守閣から眺めた松江は青空と山なみの中に整然と置かれていた。最後に私たちは小泉八雲旧居をおとすれた。

耳なし抱へ、むじな、ろくろ首など一連の怪談物で知られる八雲

学校が疲れ帰ると浴衣にかえ、縁近く坐つて日本のキミ煙草を長キセルで喫いたなが山鳩の鳴やと唾の声などに耳を付けていたという。彼の煙草好き有名で、キセルは三、四十本持っており、その掃除が大変だった。

る聞かか結う

北海道初旅

小池 富夫

吾五十才にして始めて渡る北国の
津軽海峡睨みて静けし
新しき時代の中に消えゆくを知り
つつ戦いし史話多くあり 五稜
郭
剥裂の大きな熊の立ちているを常呂
の駅もカメラに撮りぬ

草原あり雲あり赤屋根の家屋あり
夕日明るき月寒牧場
アイヌ小屋に通いてアイヌの生

森井吉夫

たそがれくくれる島羽の海
ひとり沖みる乙女いて
白き航路の真珠島
旅情の乙女なに想う

鬼ヶ城の岩原を
ともに歩みて語るとき
涼風吹きてなびきまう

乙女の髪をやわらかく
千両の藍を色にひめ
深くよどめる下瀬の
岸辺の旗亭にいらうとき
乙女の笑みのこぼれる

黒潮洗う辰帰洞

うた。
私は薄暗い部屋の真中で、七十
すぎのおはあさんが死んでいて
「松江における八雲の私生活」と
題した小冊を買ひ求めたが、その
中で節子夫人を嫁に世話した雷田
つた。ヘルンは英語教師を志
しがけり自由な近視の右眼で、
の伝説、風習、人情、怪談
くの名著を著わし、世界に
た。松江の風光を愛し、空
夕映えをたたえた彼は心の

旅行のおかみ、ツネさんの談話に「先生（八雲）が同様の習日私は初めて京店のお宅に伺うと節子様の手足がきしゃでなく、これは十族の娘ではないと先生は大きげんで、セツは百姓の娘だ、手足が太い、おセツさんは自分を

松江の自然の中に求めている

遊行

一 京都・生

一 西

い
だす、とお叱言をいたなき私も
閉口しましたが、士族で名家のお
嬢さんに間違いはないので、間も
なく自出度く納まりました」とあ
る。だりが興味深かった。節子夫
人は少女時代、父の機業場で一女
工として働いたため手足が荒達し

和城

飛鳥・柳

面説あれど、昌雄は

西紀七百年、
世界最古の本道と
その名高き法隆寺
源をアジヤナ寺院に発見
摩写完了の新現成壁画
四天王像に護られて
金堂の中央にまつられる
如来三尊の尊像

を語る尊長もすでにサラリーマン
名の高きボラチ並木は思ひの他狭
くと思ふと心滿ちたり 北木
とげのある大きな蟹を喰ひなうみ
汗出すも今日の旅のはしめぞ 釧
路

皇村即作 浪遊三絶
端正嚴然とおわします
柿食ふは鐘がなるなる法隆
子規の名句をなつかし
大宝殿を拝観す
称徳天皇ご寄進の
百万塔の障羅尼經

紫の光をあてし舞台のごとく神秘の
 湖は眠みてけぶりぬ（摩周湖）
 紫にけはる湖面の中央に島一つあ
 り動くものなし
 流水の響り来る冬を疑いぬ眠みて
 静けき網走の海（網走） 北海道
 千々次郎参幸、雪国は高千穂文文

二ノ参加者・齋岡真祐里高松
光明皇后の母にまします
橘夫人念持仏

井 上 酉 三

がら不自由な親の右眼で、日本の伝説、風習、人情、怪談など多くの名著を著し、世界に紹介した。松江の風光を愛し、穴室湖の夕映えをたたえ、彼への平安を松江の自然の中に求めたいので

八雲は五十五歳で世を去ったが、彼の日本に残した功績は大きい。私たちの感懐と想いをのせて、今夜の宿泊地、玉造温泉と緑の国道を走りつづけた。山陰コース参加者、東京都世田谷区幸手町

遊行

都京・生柳

三酉

納むる厨子もまた国宝
東院の中心をなす夢殿に
救世観音の像おわす
聖徳太子等身の
像と云へて北魏式

光天皇の幼顔で

西紀七百八年度
 兩説あれど再建は
 飛鳥・相模
 井上

開基せられた秋篠寺
 ここにまします傍雲天
 本邦唯一の遺例なり
 頭部は乾漆天平時代
 体部は寄木鎌倉時代
 修復のあと歴然たり
 咲花のにおうがごとしうた

世果最古の木造と
 その名も高き法隆寺
 源々シヤンタ寺院に発したる
 摩訶陀の新現の壁面
 四天王像に護られて
 金堂の中央にまつられる
 覺仙師作梵迦三尊
 七代七十余年の平城京
 お寺の繁盛のの時分
 大極殿のいたたすめば
 東西南北四き余
 感懐無量とはななく
 たた広々と稲田なり

端正嚴整おわします
柿食ふ鐘がなるなり法隆寺
子親の句をなつかしみ
大義賊を拝観す
称徳天皇へ客進の
百万塔の陀羅尼經
現存の国界取子の印刷物

興福寺塔の池をあとにして
稗田唐吉や太 おお 神社
飛鳥の流れをに見て
百五十塔の甘井丘
盟神探湯くがたち
の行なわ
しといふ所荒地で

水瓶を輕手にする長身の
百濟觀音の像もたつ
本尊像は南北朝
こちらには云ふく朝風
推古天皇御所持の玉虫唐子
側面の知られたる図は捨身飼虎
光明皇后の母にします

鰐夷入鹿も住まりせり
人豚吉の歌に知られる雷の
丘も真近かに鎮まり
中大兄と鐵足の近つたりし法
寺（飛鳥寺）

（つづく）

飛鳥・柳生・京都・ローマ

橘夫人念持仏
加考、静岡県三島市南田町

豪華観光船 **ふじ・にほん丸** (旅客定員 1,800名 3,000トン)

見ているだけで、心が大きく広がる海——
 修学旅行は海になさいますか。
 日本最大の豪華客船 ふじ・にほん丸が、
 生涯忘れえぬ修学旅行へご案内いたします。
 純白の船体に若い心をのせて……。

- 科学技術の粋をあつめた最新鋭船。
- 一流ホテルのような豪華な設備、完全エアコン。
- 皆さまでのスケジュールにあわせて就航。
- 学習講義用TVシステムも完備。
- 一般乗客との混乗はありません。

●お問い合わせは●

① 大島運輸株式会社 東京支店
 東京都中央区日本橋通1の6
 浅野ビル ☎(03)273-8911

東京コマ旅行会館は
第8回優秀防火建築表彰で
建設大臣賞を受賞いたしました。
東京でのお泊りは
安全設備を誇る当会館へ。

東京タワー、国会議事堂を間近かに望む
東京の中心にあり、8階建の近代ビルで、
修学旅行の皆様にも、より有意義な旅行を
していただくために、清潔で低廉に、し
かも最新の設備をほどこした全館和室の
観光旅館です。

東京 コマ旅行会館

ホテル〈全館和室〉
東京都港区六本木1丁目7番地
TEL (03)585-1046(代表)